



迎春準備完了



春日神社

令和7年(2025)は

穏やかなお正月で始動!

令和7年乙巳(きのとみ)の年は、穏やかな天候に恵まれて明けました。

昨年は元日には、石川県能登半島の大地震、2日には羽田空港での飛行機事故と年明け早々災難に見舞われ先行きが大変心配されました。しかし、今年はこのところ国内では平穏に時を刻んでいます。

春日神社



発行 今井町並み保存会
発行日 令和7年2月1日
電話 0744-22-1128
http://www3.kcn.ne.jp/~imaicho/
e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp
◇ご意見・ご感想は
今井景観支援センターまで

恵比寿社は春日神社の末社として本殿北側に鎮座されており、毎年1月8日に商売繁盛を祈願する恵比寿祭を執り行っています。今年も8日10時、雪がちらちら舞う底冷えのする中、祭礼を行いました。参拝客には、ぜんざいが振る舞われ、冷えた体を暖めてもらいました。

1月8日 えべっさん(恵比寿祭)

今井町・兵部町の氏神さんである春日神社では、例年通りの迎春準備を整えて、初詣の皆さんをお迎えしました。23時45分〜0時45分の一時間に参拝者は200人を超え、過去最高ではないかと思われるくらい大勢の初詣の方で賑わいました。

参拝客が最高潮
今年例年以上に
若者・子供が目立ちました。



おみくじ・破魔矢の販売

参拝のあとは、
拝殿前でお神酒
肴の接待と縁起物を配布



13時 大とんどに点火

春日神社境内に大とんどの櫓を組んで、各家庭から持ち込まれた正月のしめ飾りや古いお札(ふだ)神棚などをセットして、拝殿で祭礼の後、13時に高橋敬一さんが今年の恵方である庚(かのえ・西南西)から点火しました。今年は、風の強さを勘案した小ぶりの櫓でしたが、勢いよく燃え上がり16時には鎮火しました。

1月14日 大とんど



恵比寿神社前の祭壇



3種類の福笹販売

第47回全国町並みゼミ東京大会

参加報告(つづき)

前々月、前月号に続いて、今月号では、大会2日目の(10/27)の2件のセッションについて報告します。

第一セッションは、「制度：町並み保存から歴史まちづくりへ」と題して、福川連盟理事長から、伝建地区制度以外にも歴史的町並みなどを守るための制度についての話の後、各地域で利用されている制度について発表がありました。

①新潟まち遺産の会

『町並みは、建物単体でなく、空間・景観を全体として捉えている。保存という言葉は賞味期限が切れており、使わない方がよいのではないか。町並みの価値は文化財として、景観として、人の生活の場(住む人・来る人・通る人・町の魅力・活気)としての意味がある。町並みの保存は、重伝建制度ではできないものでも歴史まちづくりで残すことができるかもしれない。』

②倉敷町家トラスト

『伝建地区の町並み景観を守るためバッファゾーンを設けたが、地区外にビルが建設され、景観が阻害されていること。オーバーツーリズム、コミュニティの崩壊、地区内での火災や周辺地区での町家の喪失等の問題があること。』

③臼杵(大分県)

『町の資産を活用した街歩きなどの体験メニューを考案し、観光に役立てている。』

行政の怠慢により、町並み保存がいつの間にか停滞している状況。』

④小諸まちなみ研究会

『町並環境整備事業により町並みは残ったが、地域のにぎわいを生み出すことができなかつたことやその事業の終了後、伝建地区選定を要望したが、市が動かかなかつたことで、歴史まちづくり計画のビジョンを市に提案していること。』

⑤奈良まちづくりセンター

『過去の伝建調査と住民の反対で伝建地区選定を断念したこと、その結果として多くの町家がなくなつたこと。市単独事業での補助事業やにぎわい構想、景観形成地区設定や景観条例の制定とその限界により、歴史まちづくり法を活用したこと。』

⑥京都町家再生研究会

『市条例による建築基準法の適用除外や京町家新条例の提言と制定により、22の京町家保全継承地区が設けられたこと。どのような改修するかの研修として、町家設計塾の実施や町家親子体験教室などの実施。』

第一セッションは、「防災：災害に強い町並みとは? 目指すは回復力」と題して、

横浜市立大学の鈴木伸治先生より、耐震改修、耐火の規制、防災や備えについて概略説明があり、国学院大学観光まちづくり学部の下間先生からは、文化庁による伝建地区での耐震対策の手引きの作成、重要文化財の家屋でも火を使用することができ、それは火の使い方を知るためにも重要であることや防災を生活文化の一部として捉えることが重要であり、自主防災が

重要であることの話がありました。

美濃市、真壁、臼杵、京都、熊川宿からは、火災による町並みの消失と再生、伝建地区内での耐震化率が低く、行政に耐震補強の補助拡張を要求や防災計画の作成をしたこと。東日本大震災で、屋根の被害と伝建や登録文化財制度による大きな補助があつた件、災害時、自分たちで地区を守るという意思を持つこと。景観と調和する防災対策が、重要であること。路地に面する町家の再生は、建築法的に難しいが、様々な工夫により解決し、町家群再生プロジェクトとして実現したこと。住民全員によるコミュニティでの防災の実施や各家屋間での相互の連動警報機を設置したことなどについての発表がありました。

節分祭2月2日(日)開催予定

春日神社では、2月2日(日)16時~17時に節分祭を行います。

拜殿南側で、御供まきを行います。

今井町 春日神社
節分祭
 2月2日 16:00~17:00
 (役員・世話役 15時集合)
 御供まき (豆・餅・菓子)